

# 今、何の病気が流行しているか！

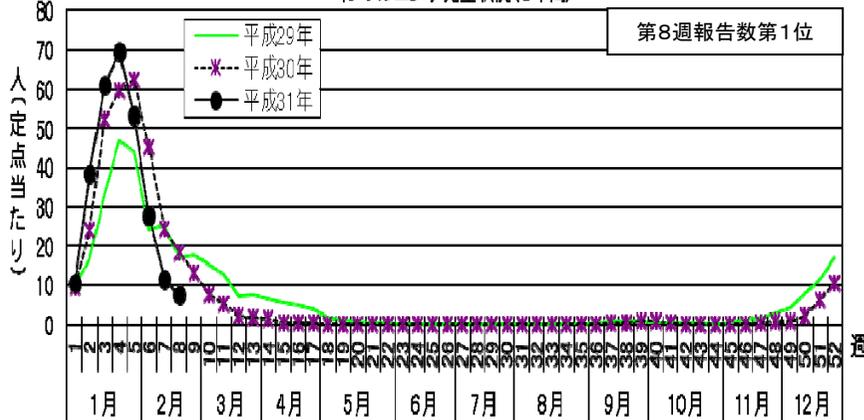
【感染症発生動向調査事業から】

平成31年2月18日（月）～平成31年2月24日（日）〔平成31年第8週〕の感染症発生状況

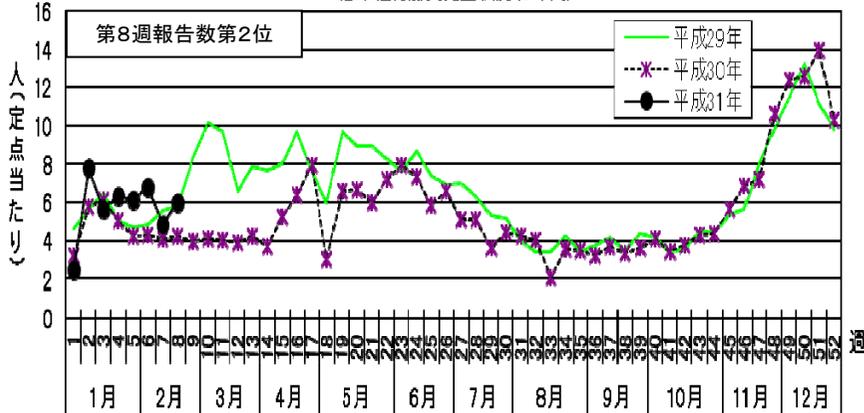
第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.48人と前週（11.44人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.95人と前週（4.81人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.68人と前週（2.46人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



## 「子ども予防接種週間」3月1日（金）～3月7日（木）

3月1日～3月7日は「子ども予防接種週間」です。予防接種には、対象疾患・対象者・接種期間などが定められた定期予防接種と、希望者が各自で受ける任意予防接種があり、いずれも接種することで病気を予防することができます。

特に、麻しんはワクチンで予防できる疾患にもかかわらず、現在、全国における報告数が急増しています。川崎市においても、平成31年第8週（2月18日～2月24日）に麻しんの報告が1件ありましたので、麻しん・風しん混合（MR）ワクチン接種対象者のお子さんは、出来るだけ早く接種を済ませましょう。

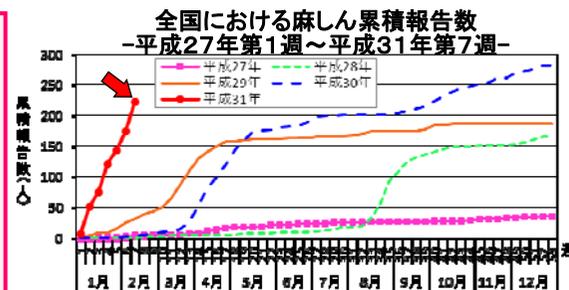
### 子どもの定期予防接種と任意予防接種の種類

#### 《定期予防接種》

- ✓H i b感染症（ヒブワクチン）
- ✓小児の肺炎球菌感染症（小児用肺炎球菌ワクチン）
- ✓B型肝炎
- ✓ジフテリア、百日咳、ポリオ、破傷風（1期：DPT-I PV）（2期：DT）
- ✓BCG（結核）
- ✓麻しん・風しん（MR）
- ✓水痘（水ぼうそう）
- ✓日本脳炎
- ✓ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）

#### 《任意予防接種》

- ✓ロタウイルス
- ✓おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）
- ✓インフルエンザなど



- 定期予防接種を受けられる医療機関  
川崎市予防接種個別協力医療機関
  - 予防接種を受けるときに持っていくもの  
①川崎市予防接種予診票  
②母子健康手帳（**忘れないで！！**）
  - 予防接種の費用  
定期予防接種：無料  
任意予防接種：有料（医療機関ごとに料金は異なります。）
- 詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。